

各 位

東京都千代田区二番町7番地5
 株式会社インフォメーション・ディベロプメント
 代表取締役会長兼社長 尾崎 眞 民
 (店頭上場銘柄コード番号：4709)
 (連絡担当 執行役員経営企画部長 蒲原隆一)
 TEL(03)3264-3571

特別損失の発生ならびに業績予想修正に関するお知らせ

この度、当社において特別損失が発生いたしましたのでお知らせいたします。
 また、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 15 年 5 月 16 日付当社「平成 16 年 3 月期 決算短信(連結)」
 において発表いたしました平成 16 年 3 月期(平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日)中間業績予想
 および通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 特別損失の発生およびその内容

開発プロジェクトの中に、開発遅延、開発要件の変更、追加コストの発生等により、開発完了の見通しが立たないプロジェクトが発生したことから、本開発プロジェクトを解約することとなりました。

本件の解約清算金等を受託業務解約清算損(2億8百万円)として特別損失に計上しております。

2. 平成 16 年 3 月期中間期業績予想の修正(平成 15 年 4 月 1 日～平成 15 年 9 月 30 日)

(1) 連結業績予想

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 予 想 (A)	5,699	119	60
今 回 修 正 (B)	5,419	266	41
増 減 額 (B - A)	280	147	19
増 減 率	4.9%	123.5%	31.7%
前 年 中 間 実 績	5,498	85	20
増 減 率 (B 比 較)	1.4%	212.9%	105.0%

(2) 単独業績予想

(単位 : 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想 (A)	5 , 1 8 8	1 2 3	6 5
今回修正 (B)	4 , 8 8 2	2 4 7	4 0
増 減 額 (B - A)	3 0 6	1 2 4	2 5
増 減 率	5 . 9 %	1 0 0 . 8 %	3 8 . 5 %
前 年 中 間 実 績	4 , 9 4 8	1 2 2	3 6
増 減 率 (B 比較)	1 . 3 %	1 0 2 . 5 %	1 1 . 1 %

3 . 平成 1 6 年 3 月 期 通 期 業 績 予 想 の 修 正 (平 成 1 5 年 4 月 1 日 ~ 平 成 1 6 年 3 月 3 1 日)

(1) 連結業績予想

(単位 : 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想 (A)	1 2 , 5 0 6	7 2 9	3 8 4
今回修正 (B)	1 1 , 8 0 0	7 2 9	3 8 4
増 減 額 (B - A)	7 0 6	-	-
増 減 率	5 . 6 %	-%	-%
前 年 通 期 実 績	1 1 , 6 6 8	5 9 1	2 7 4
増 減 率 (B 比較)	1 . 1 %	2 3 . 4 %	4 0 . 1 %

(2) 単独業績予想

(単位 : 百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想 (A)	1 1 , 4 0 0	6 5 4	3 5 9
今回修正 (B)	1 0 , 7 0 0	6 5 4	3 5 9
増 減 額 (B - A)	7 0 0	-	-
増 減 率	6 . 1 %	-%	-%
前 年 通 期 実 績	1 0 , 4 6 9	5 9 2	1 8 4
増 減 率 (B 比較)	2 . 2 %	1 0 . 5 %	9 5 . 1 %

4. 業績修正理由

当社グループの連結各社につきましては、おおむね当初計画どおりとなっておりますが、当社単独の業績について修正の見通しとなりましたので以下にお知らせいたします。

(中間期業績修正理由)

国内景気は、一部に回復の兆しが見えたものの本格的な回復にはいたらず、依然として厳しい状況が続いております。情報サービス産業においても、情報化投資の手控えや絞込み、値下げ要請等から受注競争が一段と激化し、厳しい状況にあります。

(1) 売上 — 前年同期比 1.3%減、前回予想比 5.9%減

新規案件の獲得や開発案件の受注が計画どおりに進展せず、48億82百万円と前回予想比3億6百万円減となる見通しです。

(2) 経常利益 — 前年同期比 102.5%増、前回予想比 100.8%増

外注費の削減や労務費を主体とした経費削減に注力するとともに生産性の向上(品質管理と生産管理の強化)に努めた結果、2億47百万円と前回予想比1億24百万円増となり、前年同期比、前回予想比とも大幅な増加となる見通しです。

(3) 当期純利益 — 前年同期比 11.1%増、前回予想比 38.5%減

開発プロジェクトの解約清算金等の特別損失(受託業務解約清算損)を計上した結果、前年同期比は増益となりましたが、前回予想比では、25百万円減の40百万円となる見通しです。

(通期業績修正理由)

情報サービス産業をとりまく環境は、下期以降も依然として厳しい状況が続くものと予想され、引き続き営業活動の強化を図ってまいります。当面、情報化投資の急激な回復は望めないことから、通期の業績予想を修正することといたしました。

(1) 売上高 107億円 前回予想比7億円減 (前期比2.2%増、前回予想比6.1%減)

(2) 経常利益、当期純利益につきましては、前回予想どおりと見込んでおります。

以上